

日高地区概況

令和6年3月1日現在
 世帯数 9,296
 人口 21,179
 男 10,332
 女 10,847

※この概要は日高支所管内の統計による



第217号

発行日 令和6年3月20日
 発行 日高学区市民自治会
<http://www.net1.jway.ne.jp/hitaka.com/>
 代表者 志賀 勝 弘
 編集責任者 志賀 勝 弘
 印刷 おぎつ印刷

我が家の減災対策は

防災士からのアドバイス



津波のビデオを見る、小木津浜お元気クラブの皆さん

元日に起こった能登半島地震の惨禍は、今なお現地の厳しい生活を伝えてきます。日立市でも昨年9月8日の集中豪雨で甚大な被害が出ました。13年前の東日本大震災では多くの死者を出し、生まれ故郷を離れる人を出すなど、近年は日本各地で多くの災害が発生しています。市民自治

元日には毎年「東日本大震災」での日の活動記録を掲示しています。小木津浜おげんきクラブでは3月4日に「東日本大震災川尻町の津波」のビデオを見て津波の怖さを再認識しました。「ひとたび事が起これば…」とつさの判断が強いられるわけですが、日頃の心構えや準備が何より大切です。基本的な対策について日高学区の防災士、瀬和直己さんへ話を聞きました。①家具などの転倒防止に努める。タンス、本棚、食器棚、冷蔵庫が倒れると下敷きになったり怪我をする。②水やレトルトカレーなど簡単に食べられるものを3日分は準備しておく。③簡易トイレやおむつなども用意しておく。④海沿いでは津波情報をよく聞いて、ためらわず高台に逃げる。

会では毎年「東日本大震災」での日の活動記録を掲示しています。小木津浜おげんきクラブでは3月4日に「東日本大震災川尻町の津波」のビデオを見て津波の怖さを再認識しました。「ひとたび事が起これば…」とつさの判断が強いられるわけですが、日頃の心構えや準備が何より大切です。基本的な対策について日高学区の防災士、瀬和直己さんへ話を聞きました。①家具などの転倒防止に努める。タンス、本棚、食器棚、冷蔵庫が倒れると下敷きになったり怪我をする。②水やレトルトカレーなど簡単に食べられるものを3日分は準備しておく。③簡易トイレやおむつなども用意しておく。④海沿いでは津波情報をよく聞いて、ためらわず高台に逃げる。

多くの人出で賑わう

日高ふれあい鳥追い祭り

今年で30回目を迎える「日高ふれあい鳥追い祭り」が1月13日に日高交流センターで開催されました。今年も穏やかな天気に恵まれ、朝早くから中学生が加わり会場づくりが進みまわりました。無料で甘酒が振る舞われるなか、好評のどん汁やお汁粉、福祉作業所の製品等も販売され、千人を超

える来場者で賑わいました。また、今年もスイスからの来場者も立寄り、餅つきを体験し、昔遊び等を見学する様子も見られました。メインイベントのどん汁焼きでは、一年の無病息災、五穀豊穡や家内安全と厄除けなどを願い、正月のお飾り等を焼き上げました。最後に、色つきのまゆ玉をみずの木に飾り付けて、願い事を託しました。実行委員長の坪井善吉さ



みんなの願い天まで届け

んは、今後も地域の伝統行事として継承してゆきたいと話していました。

これ以外にも必要なことがあるでしょう。「我が家のタイムライン」を話題にして「備えあれば憂いなし」としたいものです。災害の記録を風化させず、その恐ろしさを心に刻んでおくことも大切です。

4月オープン予定

日高交流センターエレベーター

今年の1月から始まった日高交流センターのエレベーター工事は外壁工事も終わり内部の詳細工事と運用までの電気工事などが現在進められています。工事に伴い、交流センター利用者のみならずまは部屋の利用中止や駐車場の制限などの御協力ありがとうございます。

役員会報告

2月5日の役員会で次の事項について協議しました。
 ＊クリーンアップデーと東連津川清掃
 ＊本部・支部役員会
 ＊ぼんぼり設置
 ＊令和6年度総会の準備

令和6年度 市民自治会総会案内

4月13日(土) 13時30分
 場所：日高交流センター
 新年度の事業計画、予算などを決める大事な総会です。必ずご出席ください。

総会出席対象者

本部役員、新・旧正副支部長、新常任委員、新自治委員

行事予定

- (3月21日)～5月20日 日高学区市民自治会
- 3月24日 4月28日 再生資源拠点回収(日)
- 日高交流センター
- 日高自治会総会
- 4月13日(土) 午後1時半から
- 日高学区高齢者クラブ連合会
- 総会 4月12日(金)
- 日高交流センター
- 総会 4月12日(金)
- 日高交流センター
- グラウンドゴルフ大会 5月15日(水)
- 日高交流センター広場
- 日高文化協会
- 総会 4月20日(土)
- 絵画展・書道展 5月17日(金)～19日(日)
- 日高交流センター

日高学区自主活動 — 地域の方々が楽しく —



登録自主グループに対する説明会を開催

用している42の自主グループが集い、日高交流センターの事務局より今年度の利用について説明がありました。

事務局からは、利用率は上がっているが利用人数が減っている(グループ毎のメンバーが減っている)状況や、駐車場の注意事項、登録外の一時利用が増え、利用規則を守らないグループが増えている事などの報告がありました。

利用グループからも、自分たちの前の利用者の利用延長や片付け・掃除がされていないなどの理由で利用時間が短くなり困っている等の報告や今後の猛暑での利用制限の対応有無の質問

待ちわびた春が来た 日高の「梅と桜」見て歩く



東連津川の中山橋近くの蠟梅

1月7日、東連津川に架かる中山橋付近に2分咲き

にほころぶ3本の蠟梅の木を見つめました。誰しもが待ちわびた春の訪れです。数日後、東本宿の飯野さん宅にもそれは見事な艶のある蠟細工のような黄色い花が咲いていました。1月24日には、焼山公園で青空に映える紅梅のほのかな香りを嗅ぐことができました。2月の中旬から下旬にかけては、小木津山自然公園入口近くの斜面や西町の首なし地蔵前の規模の大きい梅林、大宮園小木津工場横の白梅と薄いピンク色の旬の梅に出会えたのです。



交流センターの日立紅寒桜

極早咲きで長期間楽しめる交流センターの「日立紅寒桜」が、今年は1月8日に開花しました。同種の桜は、横内のため池や日高小中学校にもあります。3月上旬には、平成29年に新種登録された淡いピンク色の「おぎつやよい」の開花です。あと数日経てば、新し

登録グループの活動一覧

- | 交流センター利用 | 体育館利用 |
|----------|---------|
| ・鎌倉彫り | ・軽スポーツ |
| ・かな書道 | ・健康体操 |
| ・手具健康体操 | ・ソフトバレー |
| ・太極拳 | ・卓球 |
| ・チューブ体操 | ・健康体操 |
| ・エアロビクス | ・バドミントン |
| ・カラオケ | ・バレーボール |
| ・人形劇 | ・空手 |
| ・手芸 | |
| ・囲碁 | |
| ・絵手紙 | |
| ・ヨガ | |
| ・吹き矢 | |
| ・短歌 | |
| ・詩吟 | |
| ・琴演奏 | |
| ・子育て支援 | |
| ・フラダンス | |
| ・パソコン | |

などがありません。利用する場合は規則をしっかりと守って皆が気持ちよく活動できるようにしましょう。現在の登録グループの活動内容は表の通り。会員登録しているグループも多いので興味のある方、新しくグループ登録希望の方は日高交流センターまでお問い合わせください。

ミュージカル「アナと雪の女王」に感動!!

日高文化協会



日高文化協会は2月16日4年ぶりの研修旅行として、

を企画し、多くの会員を楽しませてきました。

劇団四季のミュージカル「アナと雪の女王」の観劇会を開催し38名の参加者がありました。このような観劇会は文化協会が平成25年から歌舞伎や宝塚、ミュージカルなどを楽しませてきました。

今回は「アナと雪の女王」劇場に入ると緞帳にはオーロラと山の風景、題が映しだされ期待が膨らみました。休憩を挟んでの2時間半、生演奏や響きわたる歌声、キャストの迫力ある動きに、参加者は「初めて生のミュージカルを観ましたが演奏や歌声の凄さに驚き感動しました」「ストーリーは映画を観て知っていたが演出が期待以上でした」と話していました。

帰りのバスの中、小澤会長は「素晴らしいミュージカルでしたね」と挨拶し、同じ気持ちの参加者は、熱い拍手を送りました。

坪井善吉さん 青少年育成団体顕彰で表彰



表彰を受ける坪井さん

い門出を祝うかのように満開の「染井吉野」に心が浮き立つことでしょう。そして、樹勢回復中の「枝垂桜」が咲いてきます。4月下旬頃になると、大作公園の「八重桜」を勧めます。

の部で坪井善吉さんが表彰されました。坪井さんは市民自治会の役員として長年にわたり青少年育成に携わり、コミュニティの活動の充実に貢献し、地域の鳥追い祭りや巡回活動等の他、日立市の青少年育成事業にも積極的に活動していることが評価され、日立市青少年育成推進会議より推薦され受賞となりました。受賞者代表のあいさつで坪井さんは「地道な活動であるが大人が見本を示す大切さ」を受賞のお礼と共に話していました。

城県推進大会

令和5年度青少年育成茨城県推進大会において「青少年団体等顕彰」の指導者

頑張っています佐藤三代子さん ひたち元氣アップ賞

令和5年度のひたち元氣アップ賞で日高町の佐藤三代子さんが個人の部で努力賞を受賞され、2月19日の



元氣アップ賞の佐藤さん

授賞式で小川日立市長から表彰を受けました。佐藤さんは、市民自治会が実施している日高ラジ体操の会(平成18年発足し通年休みなく実施している)に初回からほぼ休みなく参加、健康づくりと参加者同士の交流を続けています。当初、近隣の仲間3人で参加していましたが他の2人は高齢のためリタイア、佐藤さんだけは雨にも負けず風にも負けず今日も頑張っています。

地域で支える力

支部福祉協力員の活動

日高学区には、支援を必要とする高齢者や障害のある方が205名います。日高学区市民自治会福祉委員会が行う要支援者

を支える事業として、支部福祉協力員制度があり活発な活動をしています。委嘱された45名の支部福祉協力員は民生委員と関わりながら、日頃の見守りや自主防災訓練時の安否確認・支援助資配付訓練を行っています。

3月7日には、鶴の岬の会議室で支部福祉協力員全体会議を行い、

日頃の活動に対しての感謝と共に、活動を通しての疑問や意見などを協議しました。

支部福祉協力員全体会議のようす



特に、日高学区災害時避難行動要支援者対応の指針が策定されたことに伴い、災害時の対応は支援者に危険が及ばないよう災害中の活動は絶対にならないことを確認しました。

地域福祉は誰もが安心して地域で暮らせるよう住民どうし支え合

車椅子をご利用ください

日高学区市民自治会福祉委員会では、無料で車椅子の貸出しを行っています。今年度は、延べ40名の方にご利用いただきました。レジャーは勿論のこと、通院、買い物、散歩など様々

「ちよつとそこまで」や「今日は天気が良いので、母と一緒に桜を観に行きます」など、ぜひお気軽にお使いください。原則2週間を限度に貸出ししています。問合せ先 日高学区社会福祉委員会 43-11250

うことが大切です。近所の高齢者等に異変がないか遠くから見守ることも立派な福祉活動の一つです。

笑いを絶やさず45年 日高シルバークラブ



みんな仲良く楽しんでいます

会員数43名の日高シルバークラブは、毎週金曜日に日高交流センター体育館で軽体操、ストレッチ体操、バドミントン、ソフトバレーボールで各人の体調に合わせて体を動かしています。

昭和54年に発足し、45年経った今もオールシーズン自分のペースで体を動かして汗を流しおしゃべりを楽しんでいきます。年齢層は70〜80歳代とありますが、活動日は、毎回体育館の外まで笑い声や元気な声が響いています。皆さんのほとんどが長年継続し、中には免許返納後も日立から電車バスを乗り継ぎ参加している方もいます。

笑いと会員の健康を大切に考えている代表の野原さんは、「これからも、皆で楽しく続けていきたいです。興味のある方は気軽に見学に来てください」と素敵な笑顔で話していました。

青少年健全育成のための 市民の集いで受賞

日立市教育委員会が毎年実施する教育長表彰と日立市青少年育成推進会議が実施する少年の主張および家庭の日の絵画・ポスター部門において、日高小学校、中学校の生徒が左記の賞を受賞し、2月18日に日立シビックセンターで表彰状が授与されました。

日立市教育委員会 教育長表彰

日高小6年

加古 瑠莉那(るりな) (手紙作文コンクールで 文部科学大臣賞を受賞)

日立市青少年育成推進会議 少年の主張表彰 優秀賞

日高小3年

星野 弦光(げんき) 木内 愛菜(あいな)

ふるさと

郷土 ひたか (22)

おきつせ 澳津説神社の 三十六歌仙絵馬

澳津説神社の拝殿の鴨居には拝殿内を取り囲むように三十六歌仙の額と絵馬が掛けられている。 神主の石堂さんによると、この額は明治維新前後に地元の子供から奉納されたものである。

荒川 羽音(うた) 日高小6年

柴田 真帆(まほ) 加古 瑠莉那

日高小4年 黒沼 美波(みなみ)

家庭の日絵画・ポスター 表彰 最優秀賞

日高小6年

黒澤 一花(いちか)



拝殿内の絵馬

長い年月に晒され、今ではその姿も薄れかけているが、目を凝らすと百人一首などで馴染みのある歌人たちの姿とその歌、さらにその額を奉納されたと思しき氏子たちの名前がうつすらと判読できる。

一般的に、絵馬は合格祈願や自らの幸せを神様にお願いする目的で奉納されるようだが、ここに掲げられた短歌の絵馬を見ると、この地に住んでいた我々の先祖が文化的教養を持つていたことを伺い知ることができ、さらに、当時どのような気持ちでこの絵馬を奉納したのだろうかとの想像を

も掻き立てられる。(絵馬の中から一首) 世の中に 絶えて櫻のなかりせば 春の心はのどけからまし 在原業平



在原業平

日立市ふるさと文化財シリーズより抜粋

三十六歌仙絵馬は36枚の扁額として澳津説神社拝殿内の鴨居にぐるりと掲げられています。この絵馬は江戸期から明治の初めのものであり、それぞれの絵馬に氏子たちと思われる願主の名が記されています。絵馬にはそれぞれ三十六歌仙の詠んだ歌とその歌人の肖像(肖像)が描かれ、現在もそれほど剥落など損傷も少なく、立派なものです。

三十六歌仙は平安中期の11世紀に藤原公任(ふじわらのきんとう)が選んだ36人の歌人に基づくと言われています。この三十六歌仙が絵馬として、神社などに奉納されるようになるのは室町期からで、江戸期から明治期にかけて増えます。ですので、澳津説神社ばかりでなく三十六歌仙の絵馬は全国的に現存し、県内でも筑波山神社や那珂市・静神社などのものがよく知られています。

わーいできた！ 日高小学校むかし遊びに歓声



飛んだ飛んだ！

日高小学校1年生が「むかしのあそびにしようせん」の時間で、今ではあまり見られない昔の子どもの遊びの遊びを体験する授業が2月1日に行われました。日高学区市民自治会からそれぞれの昔遊び経験者10名がゲストティーチャーとして遊びの指導を行いました。1年生67名の児童が5、6名を1班として、室内ではビー玉、あやとり、おはじき、体育館では羽根つき、こま

まわし、けん玉、西グラウンドではゴムひもとび、竹とんぼ飛ばし、タガ回し、缶ばっくりを体験し、「うまいくできた」「失敗した」と子どもたちの歓声があちこちで上がっていました。今のタガ回しは、桶のタガでなく自転車のリムを回す遊びで、子どもたちはうまく操作をしていました。ゲストティーチャーも「昔取った杵柄」とばかり、孫のような1年生との遊びの時間を懐かしそうに楽しんでいました。竹とんぼ飛ばしのゲストティーチャーの星完二さんは全員分の竹とんぼを手作りしプレゼントしてくれました。高く飛ばすことを覚えた1年生の弾んだ喜びの音が印象的でした。

あの人 この人

益子 芳江さん
小木津町
(65歳)



小木津山自然公園に魅せられて

今から約30年前、当時小学1年生の娘さんと小木津山自然公園に散歩に出かけたことが今に続く転機となりました。

公園内では野鳥観察グループが観察会を行っており、その様子に引き込まれた娘さんが、何かの啓示を受けたように「自分も野鳥の会に参加する」と宣言されたそうです。それからは、親子でこの

小木津山自然公園の自然に魅せられ、ほぼ毎日この公園に足を運んできました。娘さんと一緒に野鳥を観察するうちに鳥とつながる生き物たちにも興味があわき、自然観察や保護調査活動に魅せられていきました。その調査結果は彼女が属する「おぎつ山森の会」の調査報告書(日高交流センター内図書館に寄贈)にまとめられています。

そこには、自らが美術教師だった経歴を生かして描いたイラスト画も多数掲載されています。彼女の夢は、かつての里山のように生き物たちが共に暮らせる自然豊かな公園になることを願って、今の生き物たちの現状を誰にでも気軽に分かり易く後世に残すことだそう。自然公園の動植物のことを心底楽しそうに語られる様子に、NHK朝ドラの牧野万太郎と話しているような感銘を受けました。「おぎつ山森の会」は公園内で主に植物や鳥類の観察調査やそれに関わる保全活動をしている自主グループで、現在会員を募集中のことでした。(田所 剛)

クリーンアップデー 学区内一斉に清掃活動

2月11日、学区内一斉にゴミ拾いなどの清掃活動を行いました。集められたごみは、自治会本部の環境部員が回収、分別して清掃センターへ搬入しました。



回収したごみを分別して清掃センターへ

ふるさと川

東連津川の清掃活動

東連津川をきれいにする会では、同日学区内のクリーンアップが終了後、会員60数名が、流域を4か所に分かれて今年度第4回目の清掃活動を行いました。9月の台風による大雨で、いつもより多くのゴミが流れ込んでおり、回収作業に汗を流しました。また上流域担当の堰には流木が引つかかかっており、苦勞して引き上げました。

「きれいにする会」では随時会員を募集しています。尚、河川を管理している茨城県高萩工事事務所では豪雨被害の大きかった常磐線より上流域の調査と整備

東連津

新年が地震と火事の大惨事。こんな年明けは人生初めてである。余りにも無情な事態に被災された方々の無念さや思いを言葉も無い。心からお見舞いと、お悔やみを申し上げます。この3月で2年の支部長役を終える。振り返ると本部および支部の方々、たくさん教えて頂きながらの2年、昔の自治会の思い出は、家族と運動会参加、文化祭鑑賞など。昨春秋は友

安良宿西支部
大伍 優子支部長

日高市民自治会に 参加して思うこと

人と地層の講義を聴き、暮れには味噌づくりの初体験等なかなかユニークで楽しい一時だった。夏と冬のお祭りのお料理はいつも美味しく、地域の大人も子どもも楽しんでる。祭り以外の安心・安全のための支援や防災演習は、地域のつながりを大事にするとてもよい集団活動と改めて思う。どんなことも一朝一夕で成し得ない。この自治会の協力関係を今後も絶やすことなく永く続けていってほしい、いきたいと願っている。



川の中に入ってゴミの回収

ふるさとひたかマップ 30年ぶりにリニューアル

平成5年に、市民自治会内に組織された「日高マップの会」が作成した「ふるさと 日高マップ」が、30年を過ぎ、現況との相違がだいぶ目立ち、リニューアルすることにしました。マップは、表面が手描きの絵地図になって、裏面に日高の旧跡などの解説文が

編集後記

能登半島の地震の様子が伝わり、防災対策をどうしたらよいか心配にもなりま。一面に身近な防災対策を紹介し、地震が起きたときに安心していられるように、少しでも役立つことを願う記事にしました。鳥追い祭りは今年もたくさんの子どもたちが集まり、にぎわった祭りの様子をお伝えしました。(増子)